

■□要旨■□

1 課題

各自のマイベストジョブを情報共有する。

ポイントは①反対者の存在、②その反対者への対応方法

2. プレゼンテーションにおける共通の知恵(プレゼンテーションは議事録を参照)

Aチーム:熱意と使命感を持つこと。それを回りの人に伝えること。そしてリスクは、冷静な分析をもとに事前に洗い出し対処する。

Cチーム:ストーリーを持ってブレないこと。常識を疑って変革すること。理解者・共感者を得ること。特にミドルは触媒役となって上下左右をつなげることが大事。

Dチーム:協力者を得ること。ビジョンを語ること。反対者には状況に応じた対応が必要だが共通しているのは、リスク取って体を張って対応すること。

Bチーム:コンセプト、ビジョンを明確にすること。それをアピールすること。組織の後ろ盾を得ること。協力者を増やしてチームワークを保つこと。

3 9期生の特徴？

①海外経験のような小さい組織で全部まかされた経験

②バカな上司の存在

この2つは、1期～8期までの発表に出てきたものです。今回の発表には出てきませんでした。やらざる負えない状況からリーダーシップを発揮したことにおいては共通しています。(要旨作成者の意見)

4. まとめ

共通の知恵と言えることは、熱意と使命感を持ちビジョンをつくりあげ、それを伝達・アピールすること。反対者への対応のしかたや、協力者のつくりかたや組織のバックアップの持ち方はそれぞれの立場やまたそのときどきの状況によって異なるようです。

■□今回の学び ひとことという■□

《まとめ》と繰り返しになってしまいますが、

「熱意と使命感、ビジョン、アピール」は、どんなリーダーシップにも必要な部分です。

「反対者への対応のしかた、協力者のつくりかた、組織のバックアップの持ち方」といった仕事を仕上げるまでの、関係者との接し方にリーダーの個性が出てくるようです。リーダーシップ増強計画のヒントがそこにあるのかもしれない。



■□感想■このような人の経験はめったに聞くことではありません。興味深いものでした。ビジョンの形成やコミュニケーション、決断、率先した行動はそれぞれでした。ビジネスパーソンは、いつリーダーシップが身につくのか、日常にはない仕事を仕上げたときであり、それはその人にとってもチャンスなのだとあらためて感じました。(自己の成長のチャンスであり出世？のチャンス)